

世界のHPVワクチン被害は今 国際シンポジウム

2018年3月24日、東京大学の武田先端知ビルにおいて開催され、世界のHPVワクチンの被害を知る機会となりました。

イギリス、スペイン、アイルランド、コロンビアの被害者のお母さんたち、日本の被害者本人（酒井七海さん）が、被害者の代表として参加され、それぞれの国の状況をお話しされました。

他のワクチンに比較してHPVワクチンの副反応は圧倒的に多いことも一緒でした。被害症状も同様で、いくつかの症状が長期間にわたって重層的に出現しています。しかし、症状を個別に取り上げ、既存の疾患との比較だけして被害を軽視もしくは無視し、被害を訴えると「反ワクチン派」と非難され、症状の訴えがデマだと中傷されているのも一緒でした。

*被害は日本だけで起きている…は、誤りだった。

このように、ワクチン接種をした一部の少女たちに、その後、身体的苦痛、精神的苦痛が同じ様に起きていることは明らかにされました。被害は日本だけではないということを目の当たりにしました。

被害は日本だけ…と主張する人たちは、どのような裏付けを得ているのでしょうか。WHO、EMA、コ克蘭、厚労省（国）が結論付けたからということでしょうか。しかし、結論付けたメンバーのCOIや、調査の仕方に問題があることが指摘されています。実際に被害者を診てきた医師らは、これらの結論はおかしいと必死になって言っています。

今回、5ヶ国からの報告は、世界の被害者と支援者を勇気づけ、繋げるものとなりました。そして、多くの人たちに、ワクチンの安全性をきちんと考え、被害の実態を自分の目で見て、自分のこと、身近な人に起きたらという思いで、被害を知ってもらう機会になったのではないかと思います。



☆HPV ワクチン東京訴訟支援ネットワークより

★2018.5.30 HPV ワクチン被害訴訟第6期日がありました。

今回も、原告本人さんからの意見陳述があり、本人自らの言葉、声で、ワクチン接種後の被害や、思いが、切々と述べられました。

次号に遅まきながらですが、傍聴レポートの掲載を予定しています。

★次回期日のお知らせ

2018年8月8日（水）東京地裁 15時～（傍聴抽選は14:30ころから）

また、昼頃より、裁判所前などでリレートークなどが予定されます。

是非、多くの方の注目と、傍聴への参加をお願いします。

★学習会開催のお願い

HPV ワクチン被害を知ってもらう機会として、学習会の開催をお願いしています。また、学習会開催の予定など、支援ネットワークのメーリングでお知らせしています。是非、アクセスしてみてください。

☞「HPV ワクチン被害裁判支援ネットワーク」で検索！



☆薬いろいろ…な～んか気になる抗インフルエ～ンザ薬の話題☆

来シーズ>まで憶えておきたい・このイビツな流れ…違和感ありませんか

*タミフルがWHOの必須薬品リストで補足的な薬にランクダウン

*種類にかかわらず抗インフルエ～ンザ薬の異常行動について施設など注意喚起の徹底

*新機序の抗インフルエ～ンザ薬ゾフルーザがスピード承認/すっかり薬アリキの疾患に

*タミフルの10代使用解禁



☆薬害学習会のお知らせ 映像とともに振り返る薬害☆

主催/アクセス先；薬害オンブズパーソン会議タイアップ東京

2018年6月23日（土）10:00～12:30 サリドマイド 講師 増山やかりさん

2018年7月28日（土）10:00～12:30 薬害スモ>事件 講師 辻川郁子さん

2018年10月20日（土）10:00～12:30 薬害エイズ 講師 後藤正善さん